九州·沖縄



p.58 佐賀県

進 親久さん ゲートボール



p.59 長崎県

増田明子さんソフトテニス



p.60 熊本県

竹下善一さんバウンドテニス



p.61 熊本県

西本昭広さん多ゴルフ



p.62 宮崎県

北山浩司さん 健康マージャン



p.63 宮崎県

津曲寛一さん ^会 弓 道



p.64 沖縄県

大城淳男さん 囲 碁



九州·沖縄 佐賀県



ゲートボール

「諸富チーム」(監督兼選手)

しん ちか ひさ

進 親久さん 84歳

●参加歴:3回目

一生の思い出! 関係したすべての人に感謝

私達は、海苔の生産で有名な有明海に面し、福岡県との県境筑後川に架かる昇開式稼働橋の昇開橋がある佐賀市諸富町のゲートボール仲間で選抜された「諸富チーム」です。今回、「ねんりんピック 愛顔のえひめ 2023」に参加できたことを大変嬉しく光栄に思っています。

参加する以上は、マナーと規則を守りながら、佐賀県のゲートボールを大いにアピールしようとの思いを胸に、チーム一丸となって臨みました。今回は都合により県選手団とは別行動とし、愛媛までの交通手段も皆で話し合って決めました。結果、自家用車を使って小倉港から松山観光港へフェリーで渡る3泊4日の行程とし、10月27日の朝に地元を出発、午後9時55分発のフェリーに乗船しました。みんな旅行気分で一杯交わしながら、ゲートボールの話題はもかでの生活のこと、趣味のことないもとより地元での生活のこと、趣味のことないもとより地元での生活のこと、趣味のことないもとより地元での生活のこと、趣味のことにで朝食とより、カーナビの案内でゆっくりと時間をかけて総合開会式会場に向かいました。



愛媛までの道中でさらに団結した「諸富チーム」。(後列左から2番目)

開会式は観覧席での参加でしたが、各都道府 県の色鮮やかなユニフォームでの華々しい入場 行進に圧倒されました。その中でも、佐賀県ユニフォームの艶やかさは目を見張り、他県の人 たちもその色合いを褒めてくださいました。感 動と感謝でいっぱいで、一生の思い出となる一 幕でした。

交流大会の開始式では、趣向を凝らした餅投げ等で楽しませてもらいましたし、何より参加競技者がこんなにも多いのかと驚かされました。各県の選手たちとの会話では九州弁、東北弁、関西弁……と言葉の使い方の違いを新鮮に感じました。

競技の方は、出場 117 チームの中でベスト 16 に入ることができたものの、満足には至ら ず、改めて競技の難しさ、奥深さを痛感した次 第です。今度参加ができればさらに上位を目標 に頑張りたいと思います。

最後に、今回の参加で、全国の皆様方と知り合い、郷土の話などですばらしいひと時を過ごさせていただきました。特に、東温市の皆様方、また、ゲートボール競技に携わられた皆様方に感謝の気持ちでいっぱいです。お昼の弁当も美味しかったです。本当にありがとうございました。



会場では全国の選手が「ナイスプレー!」と声を かけあった。

九州・沖縄 長崎県



ソフトテニス

「おしどり夫婦長崎」(選手)

ます だ あき こ 増田明子さん 66歳

●参加歴:2回目

えがま 笑顔で迎えた「愛顔のえひめ 2023」

突然のことだった。早朝テニスを終え、コー ヒーを飲んでいると異変は起こった。おかしい、 舌が痺れている。え! なぜ! 何が起こった の? 動揺している間に右手が痺れてきた。脳 の病気? 救急病院で MRI を受けると脳梗塞。 とやま大会に続き、今回2回目となるねんりん ピックえひめ大会、クルーズ船日本一周、全国 レディーステニス大会千葉県大会等々。全部だ めになるの?目の前が真っ暗になった。

しかし、主治医の言葉が私を勇気づけてくれ た。「ラッキーでしたね。あと1センチずれて いたら、半身不随でしたよ。リハビリを頑張れ ば、回復します」。それを聞いたら思わず涙が 出た。「テニスも旅行も大丈夫でしょうか」と 聞くと、「リハビリ次第ですよ」と言われ、俄 然リハビリの意欲が湧いてきた。ねんりんピッ ク2カ月前の出来事だった。

歩くのもしゃべるのも字を書くことさえも いっぺんにできなくなった私は、まず歩け るようになることだと院内を一生懸命歩い た。そのお陰で早期に退院することができ、 それからは、散歩と平行して指の訓練で名 前を毎日書き続けた。クルーズ船に乗って からも積極的に動いたら、不思議と回復が 早いのに気がついた。いよいよ、テニスの 練習を再開したとき、指先が痺れているた めボールコントロールができなかった。人 差し指の使い方を考えて練習していくと、 少しずつできるようになった。主人の励ま しとサポートのお陰である。体の不具合が 起きて初めてこれまでの当たり前の健康に 感謝したし、不具合が起きても体は今まで

の動きを覚えていて他の部分が代わりをしてく れるようになるのだなと思った。 夫が70歳に なったら夫婦でねんりんピックを目指そうと目 標を立てていたので、それが叶ったことがとて も嬉しく、しかも、病気という困難にも負けず この愛媛の地に立てたことは奇跡と感じた。愛 媛で出会ったすべての人々が、温かく優しい方 ばかりで、改めて"愛顔のえひめ"を痛感し、 大会で2勝もでき、本当に参加できて良かった なと思った。おまけに私達は「おしどり夫婦長 崎 | で、3 夫婦でチームを編成したことはとて も楽しく、一生の宝となった。

これまで乳ガン、子宮ガン、脳梗塞を患って も復活してきたので、これからも、たとえ困難 なことが起こっても、あきらめることなく一つ ずつ乗り越えて、残りの人生を楽しく送りたい と思う。私の次なる目標は、70歳で夫とミッ クスダブルス大会に出ることである。



3組の夫婦で出場。一生の記念となった「愛顔のえひめ大会」。 (後列右端/前列右端がご主人)

九州・沖縄 熊 本 県



バウンドテニス

「さざんか」(監督兼選手)

たけ した ぜん いち

竹下善一さん 74歳

● 参加歴:2回目

チームワークで大逆転のダブル受賞

「勝っても愛媛には行かんけど、大会に出よう」、仲間を誘って軽い気持ちで県大会に参加した。熊本県の予選は6チームが出場、なんと4勝1敗で本当に優勝してしまった。結果に驚きながらもこれで終わりと思っていると、メンバーから「せっかく優勝したんだから愛媛に行きましょう」と声があがった。そこで、唯一働いているWさんに「4泊5日なんて休めないよね」と聞いてみた。すると「大丈夫、年休申請すれば行けますよ」と予想外の返事。全国大会出場は私は2回目だが、他の5人は初出場でルンルンの旅行気分のように思えた。

えひめ大会は28チーム181名が参加。初日は、団体予選リーグで神奈川県、名古屋市、徳島県と男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスの3試合を戦った。いずれも1勝2敗の接戦だったがチームは予選リーグ4位で最下位に終わった。しかしながら、翌日へのみんなのモチベーションは高く、監督としてはちょっと安心した。

2日目はまず、BT ラリー戦が行われた。私は朝一番に「サァー、今日は本気ですよ!」と檄を飛ばし、ウォームアップを始めた。

BTラリーは、6名全員がコートの両側に分かれて1球ずつ交代しながら打ち返し、1分間に何回ラリーが続けられるかを競う。相手が最も打ちやすい球を返す、まさにチームワークが大事になるゲームだ。3回試技の結果、得点は120点で全体の3位。私が大声で「銅メダルと賞状が貰えるよ」と叫ぶと、チームはワ~と盛り上がり、周りに座っていた九州各県の選手からも次々「おめでとう」の祝福が。この勢いで決勝に臨んだ。

決勝は4位チーム同士のトーナメント戦。3 試合のうち2勝すれば勝ちあがる。初日と同じく3試合とも接戦だったが、今度は決勝までの全試合を2勝1敗で制しての優勝。初日の不振から一転、団体ダブルス・BT ラリーの両方で入賞を勝ち取った。

混合ダブルスのN氏とWさんは若手で経験も 浅かったが、2日目はこの2人が3勝した。「緊 張していたのに勝てたのがすごい!」と優勝の 立役者を褒め称えた。

大会後は高知まで足を延ばして、四万十市の 民宿で旨い鰻と鮎を堪能した。沈下橋の姿も初 めて見て感動した。

今回、私は貴重な経験ができた。1つはチームワークの大切さ。仲がよいのは無論、仲間をリスペクトし、信じること。2人なら絶対勝ってくれると祈ったこと。私には初めての経験だった。チームの勝利を願うことはあったが、祈りに近い感情は初めてだった。もう1つは、人の優しさにふれたこと。愛媛の方の「おもてなし」の精神が格別に私の心に響いた。愛媛の方々をはじめお世話になったすべての方々に深謝します。



互いを信じて戦い好成績を残した。(後列左から2番目)

NENRINPIC EHIME 2023



ゴルフ

「くまモン」(選手代表)

にし もと あき ひろ

西本昭広さん 66歳

● 参加歴:2回目

ダブルペリアの神様が2度も微笑んだ!

私は、ゴルフを始めて約43年、プライベートでの経験しかなく、サーキット的な大会に出場したことはありませんでした。しかし、昨年ねんりんピックという大会があることを知り、熊本県予選大会に同級生4名と健康マラソン5km、ゴルフの2種目に出場しました。昨年は、健康マラソン大会で熊本県の代表に選ばれ、神奈川大会へ行きました。個人的には不本意な成績で終わり、リベンジの気持ちが強く来年もチャレンジしようと思いました。

今年の県大会も2種目に出場しました。健康マラソンは参加のみの出場でしたが、ゴルフの部では思いもかけずダブルペリア方式に救われ優勝することができ、えひめ大会へ、ゴルフ「くまモンチーム」の一員として参加することになりました。

開催地の愛媛県は、おもてなしの県ということで、開会式から非常に心地良い思いで4日間を過ごすことができました。松山市での開会式は、全国から29競技約1万人の選手が集い盛大なものでした。開会式後の夕食では、熊本市

elleair.

本番を目前に、エリエールゴルフ場の前で。(中央)

The state of the s

の選手2名を加えた5名で愛媛名物の鯛めしを 食べに行くことになり、ゴルフ談議に花を咲か せ、親睦を深めました。

練習ラウンドは天気に恵まれ、素晴らしいコースセッティングの中、千葉県代表の方とバンカーショットに苦しみながらも、グリーンの素晴らしさに心奪われました。

その日の夕食は焼肉屋に行き、大会のコース の難しさを話しながら懇親を深め、有意義な時 を過ごすことができました。

本番当日は、習慣にしている早朝ジョギングを行い、その途中にあった阿沼美神社で、スコアの安定と1日の安全を祈願し本番へと向いました。本番では福岡県・愛媛県・宮崎県の代表選手と回ることになり、中にはハンディキャップゼロの方がいて、すごく勉強になりました。

ラウンド後のエリエールゴルフクラブ内で開催された懇親会では、各ブロックでの最高年齢 賞表彰式があり、熊本市の女性の方も受賞され、 わが身のごとく嬉しく思いました。

私はグロス的には満足できるスコアではあり

ませんでした。後日インターネットの結果発表を見て、年代別で一番上に私の名前を目にした瞬間、ダブルペリアの神様が舞い降りた、「やった~!」という気持ちでした。職場の同僚からも祝福され記念に残る大会となりました。これからも毎年、身体の続く限りねんりんピックへの参加を続けていきたいと思います。これからも宜しくお願いいたします。

優勝のメダルと賞状を受け取り、次の大会への意欲も。



健康マージャン

「宮崎やっどナイツ」(選手代表)

きた やま こう じ 北山浩司さん 63歳

● 参加歴:1回目

交流と視野の広がりこそ健康マージャンの魅力

ジャラジャラジャラ……子どもの頃、夜中に目 が覚めると父親が麻雀をしていた。その影響で いつの日か麻雀が打てるようになっていた。

学生時代、深夜番組での大橋巨泉氏の麻雀解 説、漫画家の福地泡介氏の麻雀エッセイ、阿佐 田哲也氏原作の映画『麻雀放浪記』を堪能し、 それなりに麻雀を打てる自信がついて社会人と なっていた。とても健康的といえない麻雀を打ち 続けているうちに、地元では麻雀人口も減って いき、4~5軒あった麻雀クラブも閉店して麻雀 を打つこともなくなり、盆正月に帰省してきた息 子たちと打つことが唯一の楽しみとなっていた。

そんな中、息子より宮崎の麻雀クラブ主催で 麻雀大会があるとの情報があり、久々に本格的 に打つ機会を得て純粋に麻雀というゲームの面 白さを痛感した。たびたび麻雀大会に参加して いく中、ねんりんピックと言う大会があり種目に 健康マージャンがあることを聞いて「還暦を迎え たら挑戦したい」と思っていた。

いざ環暦を迎えたら、コロナ禍で大会が中止 になり、今年初めて予選会に出場して、何を間 違ったか、えひめ大会に出場ができた。

団体行動が苦手な小生、今回どんな方々が一



同じ卓を囲み、交流することが何より楽しい。(左から2番目)

緒に参加されるのか不安な気持ちがよぎる中、 選手代表に選出されたことをきっかけに早速メ ンバーへ連絡させていただき、本番前に一度練 習を計画。初対面だったが有意義な時間を過ご すことができ、安心して本番でも良い成績が残 せると感じた。

肝心の成績だが、開会式を終え宿泊施設に到 着後、Uさん、Iさん、Yさんご夫婦(奥さんは 応援参加)と団体戦の作戦会議を開催、大いに 盛り上がったのが逆効果となったのか、69 団体 中57位と思いも寄らぬ結果となってしまった。

選手代表としてこれでは宮崎に帰れないと思 い、各自反省会をすることを提案。結果、翌日 の個人戦で Y さんがブロック別で6位入賞を果 たすことができ、一矢を報いることができた。

その晩の反省会(ただの飲み会かも?)が大 変盛り上がったことは言うまでもなく、宮崎に帰 省後も再会を約束した。

さて、健康マージャンって何? 「賭けない・ 飲まない・吸わない | のルールのもとゲームを楽 しむことでもあるが、今回の参加により感じたの は、見知らぬ者達が交流を深め、話をすること により自身の視野が広がるということに尽きる。

最後に、この大会運営に携わった愛媛県の皆 様をはじめ、わがままな高齢者を支えてくださっ た宮崎県役員・職員の皆様、本当にありがとう ございました。

(真ん中後方)

九州・沖縄 宮 崎 県



弓 道

「宮崎」(監督兼選手)

つ まがりかん いち

津曲 寛一 さん 66歳

● 参加歴:1回目

繋がりの大切さを感じた祭典

今回は初参加もさることながら、旗手という大 役をいただき身の引き締まる思いでした。不安も ありましたが、堂々と行進することができ、やり 遂げたという気持ちと同時に感慨深いものがあ り、今後に繋がる良い経験ができたと思います。

また、全国大会としては高校時代のインターハイ出場以来48年ぶりの参加でした。高校の時はベスト8だったので、今回は皆の気持ちを一つに優勝を目指しました。予選はギリギリでヒヤヒヤドキドキの連続でしたが、予選通過が決まった瞬間は皆でハイタッチ。そして決勝トーナメントへ皆で気持ちを引き締めました。

監督の立場として、一人ひとりにアドバイスをしていましたが、心臓はバクバク張り裂けそうでした。そして3位入賞が決定した瞬間は、優勝は逃したものの高校時代の成績を上回ることができ、また瞬時のうちにこれまで頑張ってきたさまざまなことが脳裏をかすめ、嬉しさが込み上げてきて、天にも昇るようなそんな気持ちでした。

今回、監督兼選手として出場決定から半年 間の強化練習を行い、皆の努力と意気込みが 入賞に繋がったと思います。この大会で絆を深



努力が結実し、堂々の3位入賞!(前列右から2番目)

め、一緒に喜び合えたことが一番の思い出です。

さらに、自分自身を見直す良い機会にもなりました。いろいろなことに不平不満を感じていましたが、すべてにおいて「感謝」が欠けていることに気付くことができました。そして自分をもっと表現していくことの大切さも感じました。元気で弓道を楽しめることのありがたさ、自分を支え応援してくれる仲間や家族がいること、何気ない当たり前の日々など、すべてがありがたきことであると気付かされました。そして、どれだけ多くの方々に支えられ、助けられて過ごしていることか……。人様との繋がりの大切さも痛感しました。

反省することが多い中、大会中の5日間は、選手の皆さんと共に過ごし、自分自身の変化や成長を教えていただきました。少しは成長できている自分を知ることができ、自信と喜びを感じることができました。そのことから、相手に対して、良きところを言葉で伝えることの大切さも学びました。

競技を楽しむだけでなく、たくさんの気付きを いただいたねんりんピックとなりました。

愛媛県のねんりんピック関係者の皆様、宮崎 県のスタッフの皆様には大変お世話になりあり がとうございました。いきいきとした一人ひとり



のお顔からもパワーをいただき、「愛顔のえひめ」の通り、大会期間中は笑顔で過ごせたことが何よりも宝物になりました。

代表選手練習会、凛々しい姿で発射のタイミングを見極める津曲さん。 (手前から2番目) 九州・沖縄 沖縄 県



囲碁

「ちむどんどん」(選手)

おお しろ あつ お

大城淳男さん 83歳

● 参加歴:2回目

最愛の妻の写真とともに参加したねんりんピック

真っ先に、大会運営のすばらしさに感激し、心から感謝をしたいと思います。テーマに掲げてある通り大会運営に当たられている皆さんが、笑顔で送り迎えまでしていただいたことは一生忘れられないでしょう。県民が一丸となって取り組まれたことに敬意を表するとともに、愛媛県の県民のあたたかさを感じました。

ねんりんピックへの初参加は14年前、2009年の北海道・札幌大会で、私がインドネシア日本人学校長時の職員に会えることを切望し、市・中部地区で優勝、県大会で準優勝しての参加でした。笠島夫婦に会う前は2連勝を共に喜びましたが、その後は2連敗し、64名中24位でした。今回のえひめ大会は、中部地区で準優勝、コロナ禍の関係で県大会はなく、福祉関係機関から打診されての参加でした。前回同様に愛媛県の松山市に沖縄県の算数・数学教育に取り組んだ仲間である吉田さんに会える楽しみもありました。試合終了後、彼と10年ぶりの再会。市内の遺跡寺等を案内してもらい、夕食を共にし、共に妻を亡くした境遇も語り合いました。

私が、松山行きを希望したもう一つの大事な理由は、松山の体育館で孫娘が中学の頃、ハンドボール全国大会で優勝し、私の妻や嫁(孫の母)

も応援したという思い出の地だからです。私を55年も支えてくれた妻を1年前、85歳で亡くしました。その供養のためにもえひめ大会に連れて行きたいと思い、写真を持参しました。10月28日の約1万人の全国の代表が参加した総合開会式では、沖縄県選手団代表20名

が行進し、沖縄県選手団前に来た時、私は最愛 の妻の顔写真を振りました。妻も喜んでくれて、 供養になったと思うことにしています。

愛媛県は緑が多く、自然に恵まれ、静か。市内電車の「ポッポー」はかわいい音です。それに比べると、沖縄県の浦添市は、普天間飛行場へ向かうオスプレイ等の離着陸の騒音で耳をふさぐこともあります。日本にある米軍基地の約70%がここに集中し、さらに県民の反対も拒否し、宝の海の埋め立てを強行しています。

私は、4歳の頃、日本唯一の地上戦を体験しました。「ねんりんピック」は健康長寿の祭典なので、老人が趣味・特技等を生かした意見交換の場があっても良いのではないか。学ぶことが多いと思います。

終わりに、私は実行委員会を組織して、「歳末助け合いチャリティー囲碁大会」を合計 13 回実施、全国社会福祉協議会へ寄付しています (コロナ禍で現在は中止しています)。私も満84歳、今後の目標は「3回目のねんりんピック」を目指して頑張ること、そして沖縄のシンボル「首里城」の再建チャリティー囲碁大会の開催です。末筆になりましたが、皆様とご家族のご健康・安全を祈念いたします。



総合開会式で手をふる大城さん。? 笑む奥様の写真と参加。(中央)



沖縄県の囲碁代表選手と県の世話係。 (左から2番目)